キャラクター名
詩響 律(しゆら りつ)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ハヌマーン	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	女
覚醒	無知	衝動	恐怖	初期侵食率	36 %
出自	親戚と疎遠	経験	心の壁	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	0			2
精神	2	1	0			3
社会	2	0	0			2

HP	27
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

コネ:UGN幹部	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
音使い	P	N		
両親	P 誠意	N 嫌悪		
玉野椿	P 感服	N 劣等感		
“ヘヴィレイン”	P 純愛	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
狂想の旋律	5	5	セットアップ	視界	範囲(選択)	自動	-	
効果： 攻撃力+[LV×3]/暴走を受ける/拒否可能/すでに暴走を受けている場合侵蝕+2								
ロックンロールビート	7	基4	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 暴走時のみ適応/攻撃の達成値+[LV×2]								
スピードフォース	1	4	イニシアチブ	至近	自身	自動	ピュア	
効果： イニシアチブにメインプロセス/未行動のみ								
サイレンの魔女	1	5	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果： 攻撃力+[LV×3]/装甲無視/コンセ不可								
アースシェイカー	2	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果： 命中時シーン間あらゆる判定ダイス-LV個								
音界の王	1	6	メジャー	-	-	-	Dロイス	
効果： 組み合わせたハヌマーンのEFのLV+1								
空の楽器	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果： 任意の音声や音楽を発生させる								
真偽感知	★	2	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果： 声色から嘘がないかを見抜く								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

不良JK。学校にはあまり行っておらず、いつも支部などで暇を潰している。子供だからというだけで見下したり遠慮したり舐めた態度を取る大人達が嫌い。
天性の音感を持ち、人の嘘が声色からすぐに分かってしまうため、あまり人に馴染めず人間不信気味。
しかし、かつて同じ支部に所属していたエージェント“ヘヴィレイン”は子供としてではなく対等な相棒として嘘偽り無く接してくれていたため、彼にだけは懐いており特別視していた。
(かつては学校に行かずよく支部にやってきては“ヘヴィレイン”の隣にちょこんと座って勝手に彼の持っている煙草を一本取って吸っていたりして、軽く注意されながらも甘やかされつつ他愛のない会話をしていたのではないかなと思っています)
だからこそ彼に結婚のことを打ち明けられた時、素直に祝福することができなかった。「分かってた、分かってたよ。子供のアタシじゃアンタに釣り合わないってこと」「結局、アンタも同じだった。雫にとってアタシはただの子供で、一番特別じゃなかったんだ」「…もしアタシが“大人”だったら、アンタの隣に立てたのかな」
そんな感情が渦巻き、悔しくてそっぽを向いて、それからろくな言葉も交わせないまま――しばらく後に、彼の失踪を告げる連絡が届いた。
それから一年、UGNからは状況もろくに教えてもらえず、単独で彼の居場所を探していた。ただ、もう一度会って、話したくて、今度はちゃんと、素直に言葉を交わしたくて。

一人称：アタシ
二人称：アンタ、〇〇(下の名前)
「別にいいじゃん、…アタシには、17歳が吸うのも20歳が吸うのも大して大きな違いがあるとも思えないし」